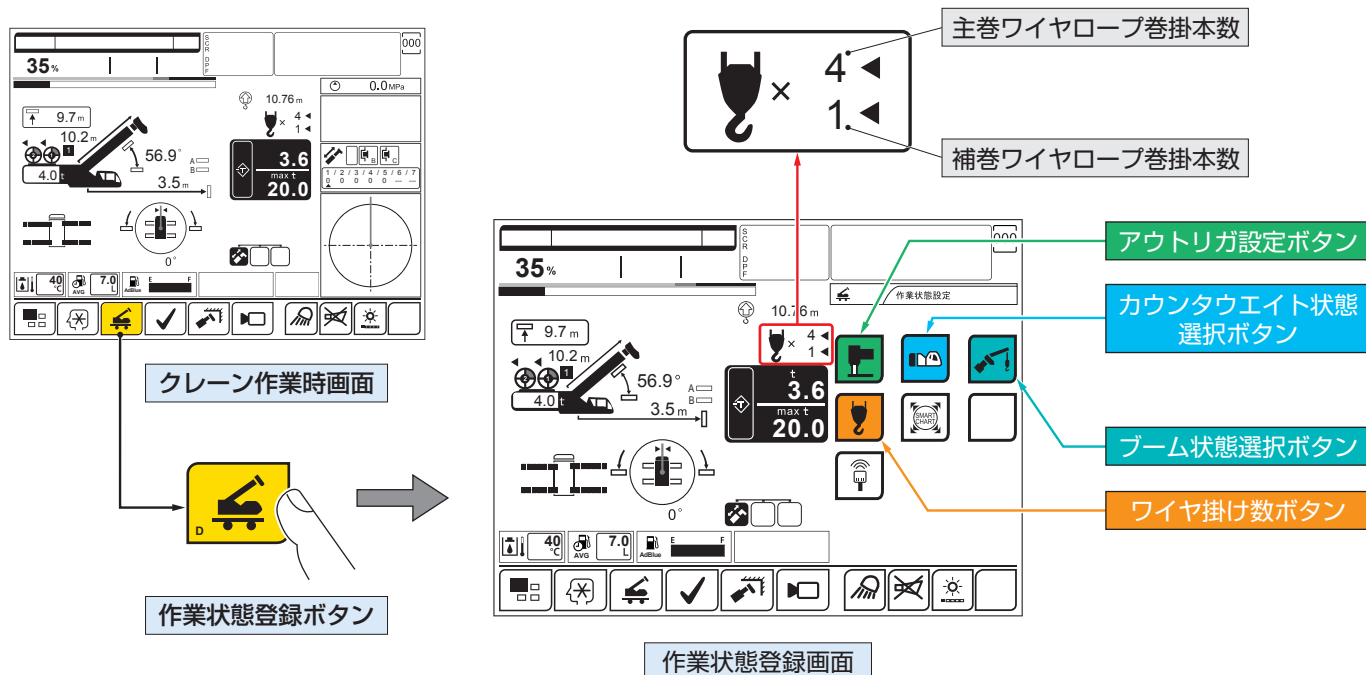


AMLの作業状態登録(ワイヤロープ巻掛本数)について

AML(過負荷防止装置)に実際と異なる作業状態を登録してクレーンを使用した場合、自動停止機能が働かず、機械が転倒または破損して重大事故を起こすおそれがあります。

作業前に必ず、実際の状態とAMLの登録状態が一致していることを確認してからクレーン作業を開始してください。



ワイヤロープ巻掛本数

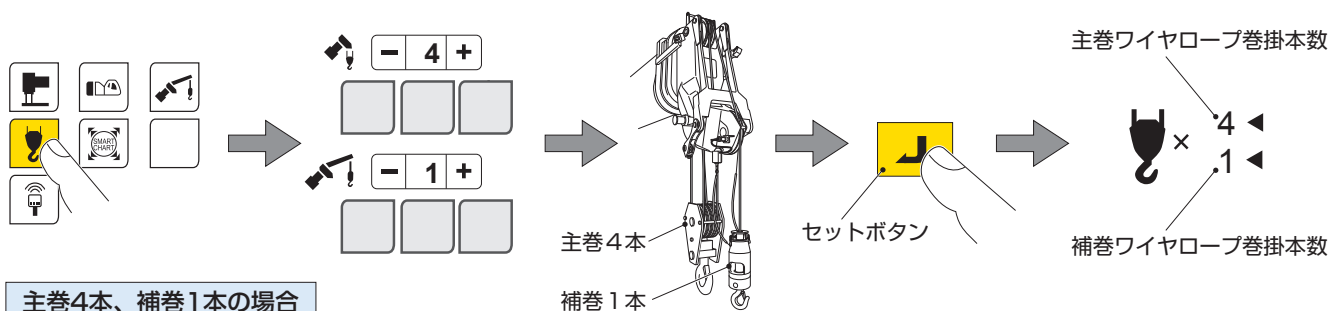


警告

誤って実際と異なる巻掛本数を登録した場合、実荷重等の検出が正常にできず、機械が転倒または破損して重大事故を起こすおそれがあり、非常に危険です。ワイヤロープ巻掛本数は、取扱説明書、および定格総荷重表に記載された巻掛本数で使用し、実際の巻掛本数とAMLに登録された巻掛本数が一致していることを作業前に必ず確認してください。

<AML登録手順>

- ・ワイヤ掛け数ボタンをタッチする。
- ・「+」「-」ボタンをタッチしワイヤ巻掛本数をAMLに入力する。
- ・実際の巻掛本数と合っていることを確認する。
- ・確認して合っていればセットボタンをタッチして登録する。



主巻4本、補巻1本の場合

ワイヤロープ巻掛本数

<標準巻掛本数について>

ワイヤロープの標準巻掛本数は、取扱説明書（性能銘板の見方）、および定格総荷重表の下欄に記載しています。

- 標準巻掛本数より多い巻掛本数で作業を行うと、ワイヤロープの長さが足りなくなります。ウインチドラムのワイヤロープがすべて繰り出されると、ワイヤロープの末端に負荷がかかり、ワイヤロープが切断して事故を起こします。また、ワイヤロープが逆巻きされて、ウインチ巻き下げ操作中にフックが巻き上がり、事故のおそれがあります。ウインチドラムに3巻き以上の捨て巻きが残るように、巻掛本数を選んでください。
- 標準巻掛本数より少ない巻掛本数では、定格総荷重表どおりになることはできません。許容荷重以上のつり上げ荷重で作業を行うと、ワイヤロープが切断し、事故を起こします。ワイヤロープ1本当たりの許容荷重を超えないようにしてください。

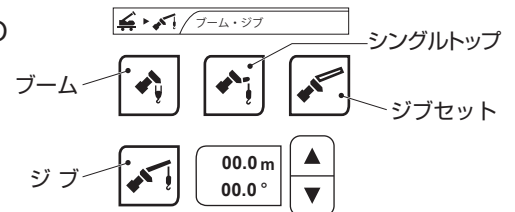


定格総荷重表（例）

	m	10.2	13.7	13.7	17.2
1.6		75.00			
2.0		75.00	45.00	25.00	45.00
2.5		73.10	45.00	25.00	45.00
3.0		65.50	45.00	25.00	45.00
3.5		59.10	45.00	24.10	45.00
4.0		53.70	45.00	22.80	42.90
4.5		49.00	45.00	21.70	40.20
5.0		44.70	44.50	20.60	37.70
5.5		40.30	40.10	19.70	35.50
6.0		36.60	36.40	18.90	33.60
6.5		33.50	33.30	18.10	31.80
7.0		30.80	30.60	17.40	30.20
8.0			26.20	16.20	26.00
9.0			22.80	15.20	22.70
10.0			20.10	14.50	19.90
11.0					16.70
12.0					14.10
14.0					10.50
16.0					
18.0					
20.0					
21.0					
22.0					
24.0					
26.0					
28.0					
30.0					
31.0					
32.0					
34.0					
35.0					
36.0					
38.0					
40.0					
42.0					
44.0					
1	0	46	0	92	
2	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	
4	0	0	0	0	
5	0	0	46	0	
ID	1	23	2	24	
t	20.7	24.3	19.9	20.5	
[DEG]	0~84	0~84	0~84	0~84	
重荷重装置		50t	35t	50t	

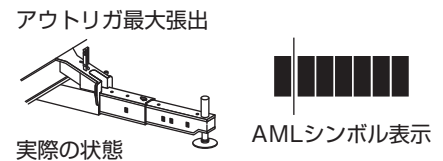
ブーム状態

- 使用するブーム状態（ブーム/シングルトップ/ジブ/ジブセット）のボタンをタッチする。
- 実際のブーム、ジブの状態と合っていることを確認する。



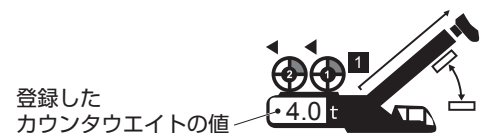
アウトリガ

- アウトリガを設置する。
※タイヤが地面から浮いていることを確認する
- 実際のアウトリガ状態と合っていることを確認する。



カウンタウエイト

- 表示されたカウンタウエイトの値が実際のクレーンの状態と合っていることを確認する。



※項目や登録方法は機種によって異なりますので、製品に付属の取扱説明書を確認願います。

メンテナンスのご利用はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成